

区民委員会報告資料

令和3年6月29日

報告事項件名	頁
1 区民事務所における一部業務見直しの取り組み状況について(中間報告) . . .	2
2 「東京都パートナーシップ制度導入自治体ネットワーク」結成について . . .	5
3 足立区における高齢者の孤立死の現状について	6
4 令和2年度3分野連携事業(「ちょいスポ」「ちょいカル」「ちょい読み」) の实施結果について . . .	12
5 令和2年度スペシャルライフコート利用実績の報告について	14
6 令和2年度あだちスポーツコンシェルジュ相談実績の報告について	16
7 「高野小学校跡地スポーツ施設に関するアンケート」の結果について . . .	19
8 「あだちはじめてえほん」事業の令和2年度実績報告について	23
9 電子図書館の図書構成等について	25

(地域のちから推進部)

件 名	区民事務所における一部業務見直しの取り組み状況について(中間報告)
所管部課名	地域のちから推進部地域調整課、区民部課税課、国民健康保険課、 高齢医療・年金課、福祉部親子支援課、衛生部保健予防課
内 容	<p>マイナンバーカード業務の急増に伴い、区民事務所窓口の待ち時間が伸びている。今後更にマイナンバーカード普及に伴う業務量の増大が見込まれるため、これまで課題となってきた区民事務所窓口の取り扱い業務を精査し、見直すことによって、待ち時間の短縮を図り、もって区民サービスの向上を目指す。</p> <p>1 業務見直し理由</p> <p>マイナンバーカードの取扱いは住民基本台帳に基づく業務のため、引き続き区民事務所で行うべきものであるが、1件あたりの一連業務（下記の（1）～（5））に長時間を要するため、現在1所1日あたりの処理時間は、平成27年度のマイナンバー制度開始時と比較して、平均6時間40分伸びている。</p> <p>（1）ID付き申請書発行 （2）初回交付・再交付 （3）記載事項の変更 （4）電子証明書の更新・発行 （5）暗証番号再設定</p> <p>2 窓口取り扱い業務見直しの必要性</p> <p>（1）事務所スペースに限界があるため、事務量が増加しても人員増が困難。 （2）マイナンバーカード処理に必要な専用端末の自治体配分数が限られており、人員を増やしても実際の処理ができない。</p> <p>3 見直し対象業務</p> <p>区民事務所職員にアンケートを実施し、業務を行うにあたり課題があり、見直しが必要と思われる、特に優先度の高い6業務は「5 主な業務見直し内容（案）」のとおり。</p> <p>4 業務見直しの視点</p> <p>（1）単純な住民サービスの低下とならないよう、廃止、改善内容と区民事務所での待ち時間の短縮効果等の比較検討を行う。 （2）各種手続きをできる限り郵送・オンライン申請に切り替え、周知を徹底する。</p>

- (3) 来所が必要な手続きについては、申請書を極力簡素化するなど、区民の利便性向上に努める。
- (4) 専門性が高い上に頻繁に制度改正が行われ、説明不足等により区民が不利益を被る可能性がある業務について、受付方法等を検討する。
- (5) 区民事務所のみで完結しない業務の受付方法等を検討する。

5 主な業務見直し内容（案）

業務内容 (主管課) 【区民事務所 年間処理件数】		検討状況	
(1)	4-(4) 住民税の申告受付 (課税課) 【2,505件】	従前	専門性の高い税申告の相談・記載指導を実施。記入済の場合は回送を行っている。
		今後	専門職員以外の対応では、区民に不利益を生じさせる可能性があるため、区民事務所での申告受付を取りやめ、原則、課税課での受付とする。 なお、区民事務所での預かり回送は、引き続き実施する。また各地域学習センター等で実施する住民税申告相談会の期間増を検討する。
(2)	4-(5) 国民健康保険加入時の電話による企業への確認が必要な受付 (国民健康保険課) 【2,160件】	従前	国民健康保険加入手続きをするには、社会保険加入時の会社が発行した退職証明書等離職日がわかる書類を持参してもらう必要がある。必要書類を持参しなかった方のための企業へ電話確認が必要な受付を区民事務所で行っている。先方の担当者が不在であったり、文書での照会を求められたりして、区民事務所の窓口だけでは対応出来ない場合がある。
		今後	企業への問合せが必要な申請については、原則、国民健康保険課での受付とする。なお、必要書類がそろっている場合は引き続き区民事務所での受付とする。
(3)	4-(4) 国民健康保険の専門性の高い申請等の受付(中抜け等) (国民健康保険課) 【511件】	従前	国民健康保険への加入・喪失手続きを行わないまま、社会保険への加入・喪失を繰り返すなど(中抜け)、複雑かつ区民事務所では処理が困難なケース等を、主管課へ電話で問合せをしながら受付している。
		今後	中抜け処理等について、必要書類がすべてそろっていない申請については、原則、国民健康保険課での受付とする。なお、必要書類がそろっている場合は引き続き区民事務所での受付とする。

	業務内容 (主管課) 【区民事務所 年間処理件数】	検討状況	
(4)	4-(4) 国民年金の免除 受付 (高齢医療・年金課) 【10,886件】	従前	本人のみならず世帯の構成や変更状況、世帯の所得状況や納付状況によっても免除の可否に影響がある等、制度が複雑で、主管課へ電話確認等が必要な申請受付を区民事務所で行っている。
		今後	申請に必要な確認事項が多く複雑なため、受付に長時間を要するほか、説明不足等により区民に不利益を生じさせる可能性がある。区民事務所では、受付時の確認項目を極力簡素化し収受する。
(5)	4-(3) 児童手当・医療 証の受付 (親子支援課) 【2,505件】	従前	申請書の記入項目が多くわかりづらいため、記載に時間を要する。
		今後	申請時の記入項目を極力簡素化することによりお客様の手間を減らし、待ち時間の短縮を図る。
(6)	4-(5) 母子健康手帳の 交付 (保健予防課) 【2,148件】	従前	母子健康手帳等の交付のみ実施。区民事務所には保健師がいないため、妊婦相談には応じられず、保健師の面談が要件になるスマイルママ面接事業のこども商品券の取り扱いもできない。
		今後	こども商品券の発行には、結局、保健予防課・保健センターでの面談が必要であり、妊婦にとって二度手間にならないよう、原則、保健予防課・保健センターの受付であることをあらゆる媒体を活用して周知する。また、問合せの際には、保健所・保健センターへ誘導する。

※ 区民事務所年間処理件数は、令和元年度の件数。

6 想定される業務短縮時間

これらの業務見直しを行うことにより、1所1日あたりの処理時間を平均約2時間短縮することが可能と見込んでいる。

7 今後のスケジュール（予定）

- 6月 業務見直し状況の中間報告
- 6月～12月
- ・ 業務見直しが可能なものから順次実施（(5)(6)）
 - ・ ICTを活用した窓口業務等の改善の検討（先進事例の視察等）
- 9月 業務見直し検討結果の取りまとめ報告

問題点
今後の方針

- 1 区民に影響のある見直しを実施する場合は、事前に十分な余裕をもって、区ホームページやあだち広報等のあらゆる媒体を活用し積極的に周知を行っていく。
- 2 更なる窓口サービスの向上のため、ICTの活用についても検討していく。

区民委員会報告資料

令和3年6月29日

件名	「東京都パートナーシップ制度導入自治体ネットワーク」結成について												
所管部課名	地域のちから推進部多様性社会推進課												
内容	<p>1 開催日時 令和3年5月19日（水）午前10時より11時30分まで</p> <p>2 開催方法 オンラインによるリモート会議</p> <p>3 ネットワーク参加自治体 【制度導入済】12自治体</p> <table border="1" data-bbox="395 869 1417 1066"> <tr> <td>港区</td> <td>文京区</td> <td>世田谷区</td> </tr> <tr> <td>渋谷区</td> <td>中野区</td> <td>豊島区</td> </tr> <tr> <td>足立区</td> <td>江戸川区</td> <td>府中市</td> </tr> <tr> <td>小金井市</td> <td>国分寺市</td> <td>国立市</td> </tr> </table> <p>【導入検討中】4自治体</p> <p>4 ネットワーク結成の目的 各区市における①性的マイノリティ施策全般の質的向上②パートナーシップ制度の利便性向上を目指す。</p> <p>5 会議内容 (1) 各自治体の制度内容紹介 制度導入経緯、制度設置根拠、開始時期、対象範囲等 (2) ネットワークの方向性・目標 性的マイノリティ施策の質的向上を目標として、種々の連携手段について検討 (3) 意見交換 導入時の経緯（意見聴取等）や、民間との連携事例等の質問について情報共有</p>	港区	文京区	世田谷区	渋谷区	中野区	豊島区	足立区	江戸川区	府中市	小金井市	国分寺市	国立市
港区	文京区	世田谷区											
渋谷区	中野区	豊島区											
足立区	江戸川区	府中市											
小金井市	国分寺市	国立市											
問題点 今後の方針	不定期に会議を開催し、自治体間の課題や連携した事業展開について検討を進める。												

件 名	足立区における高齢者の孤立死の現状について
所管部課名	地域のちから推進部絆づくり担当課
内 容	<p>足立区における高齢者の孤立死の現状について、東京都監察医務院のデータをもとに分析を行ったので報告する。</p> <p>※ 本報告での孤立死の定義は「<u>単身者が自宅で死亡した場合</u>」とする。</p> <p>1 高齢者の孤立死の状況（平成28年～令和元年） 別紙1 「足立区の高齢者孤立死データ分析結果について」参照</p> <p>2 高齢者の孤立死の傾向</p> <p>(1) 孤立死の数は年々増加傾向で、特に夏季（7・8月）と冬季（12・1月）は増加する傾向にある。</p> <p>(2) 孤立死の数は男性が女性の2.2倍になり、発見に要する日数も男性の方が2倍要している。</p> <p>(3) 最高気温の上昇と孤立死の件数は関連性が見られ、特に35℃（猛暑日）以上になると、孤立死件数が2倍になる。</p> <p>3 高齢者の孤立死の傾向からの分析</p> <p>(1) 夏季は気温と孤立死の関連性があるため、エアコンの適正利用など、知識と行動で予防できる可能性がある。</p> <p>(2) これまでの「孤立ゼロプロジェクト高齢者実態調査」における要支援者（孤立のおそれのある者）の割合は、男性は女性と比較して2.3倍高く、社会とのつながりの希薄さが孤立死件数の多さと、発見までに要した日数の長期化につながっていることが推測される。</p> <p>(3) 特に男性の孤立死が増加傾向にあるため、継続的な孤立死の状況分析と区民への周知を行っていく必要がある。</p> <p>4 今後の取り組み</p> <p>(1) 高齢者の相談窓口である地域包括支援センター及び地域の見守りを行っている関係機関に情報提供し、孤立死が増加する夏季や冬季に見守り活動の実施を依頼していく。</p> <p>(2) 孤立死の現状について、絆のあんしん連絡会などでテーマに取り上げることにより、区民への周知や啓発を進めていく。</p> <p>(3) 令和2年の高齢者の孤立死の状況（令和3年度に判明）についても、引き続き分析を行っていく。</p>
問 題 点 今後の方針	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年も孤立死の増加が想定されるため、引き続き状況を分析し、効果的な孤立死防止の方策を検討していく。

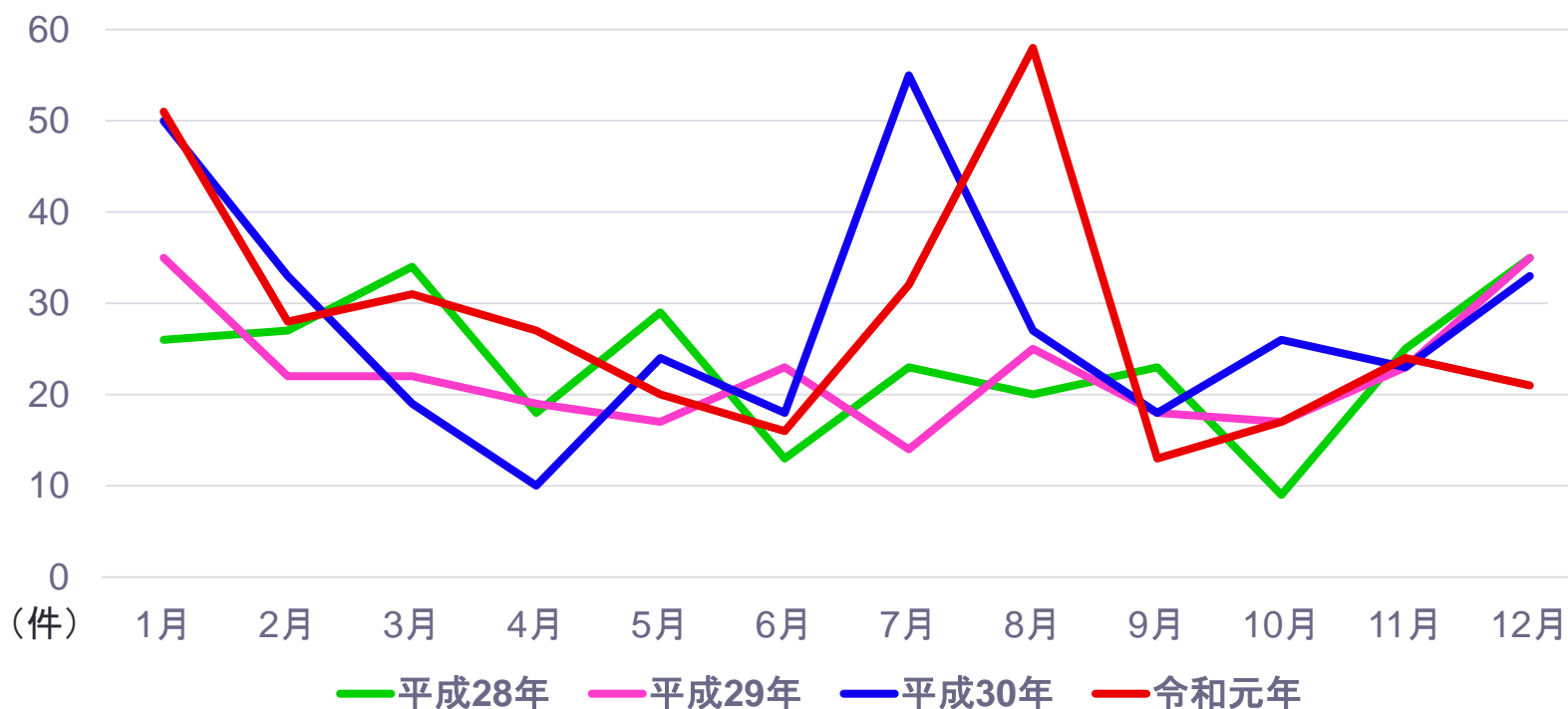
足立区の高齢者孤立死 データ分析結果について



(1) 足立区における高齢者孤立死件数(月別) 【平成28年～令和元年】

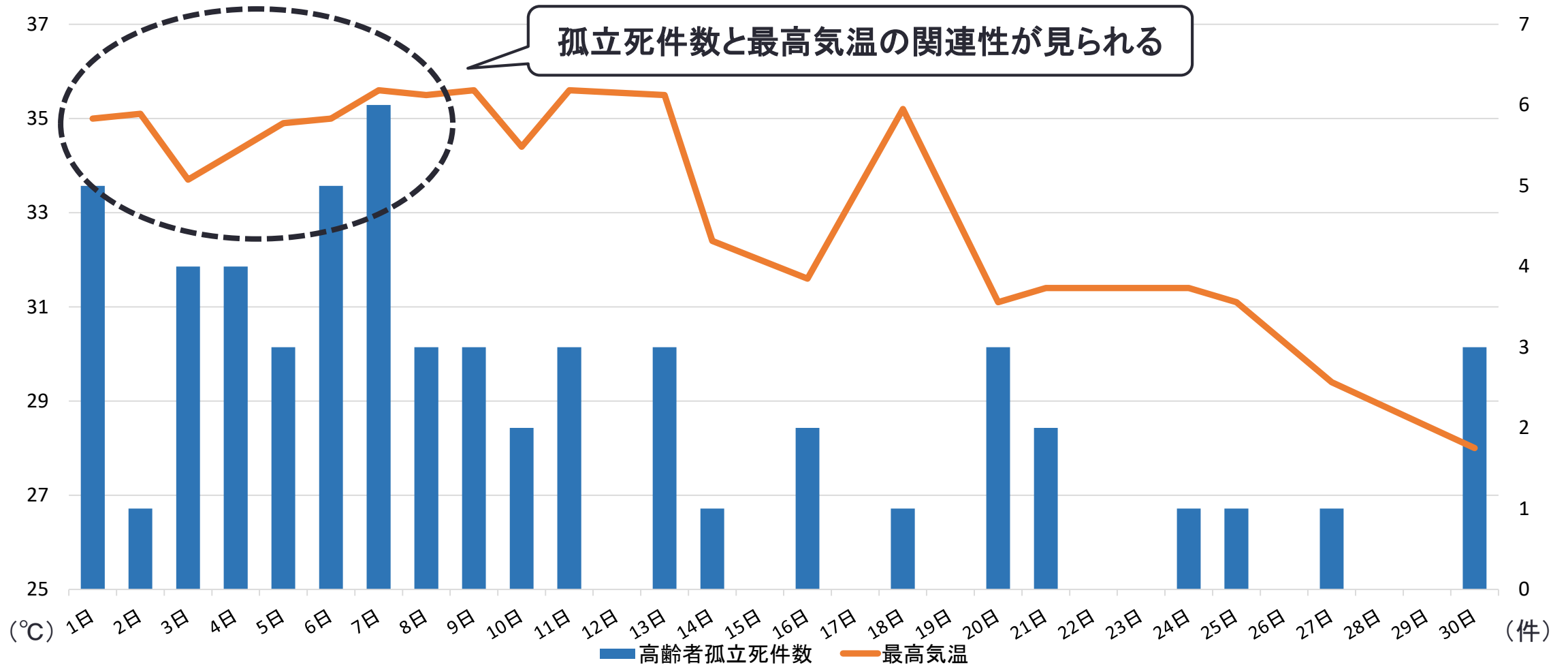
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成28年	26	27	34	18	29	13	23	20	23	9	25	35	282
平成29年	35	22	22	19	17	23	14	25	18	17	23	35	270
平成30年	50	33	19	10	24	18	55	27	18	26	23	33	336
令和元年	51	28	31	27	20	16	32	58	13	17	24	21	338
合計	162	110	106	74	90	70	124	130	72	69	95	124	1226

合計件数は増加の傾向



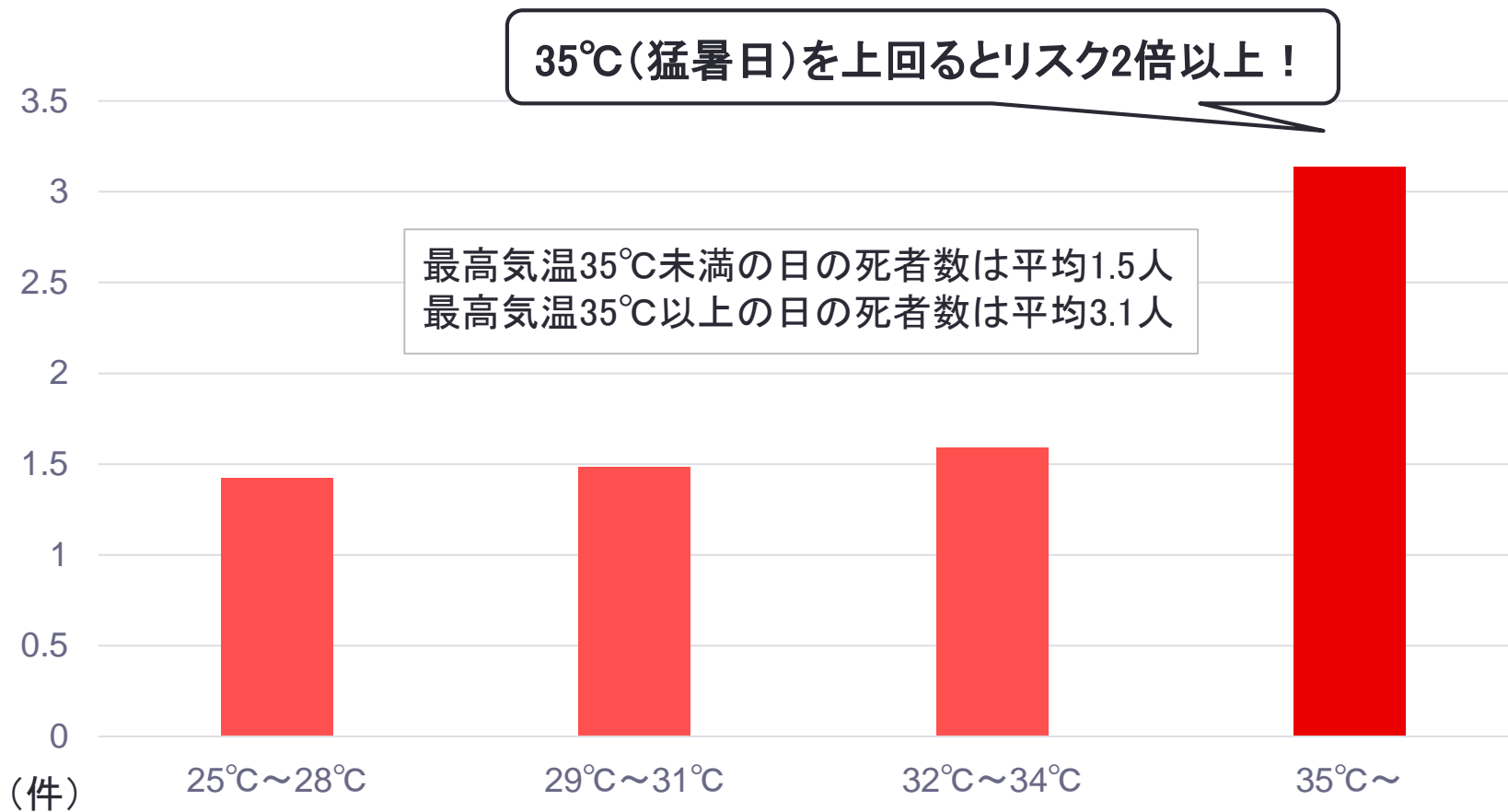
冬季（12月、1月）、夏季（7月、8月）は、
高齢者孤立死件数が増加する傾向。

(2) 足立区における令和元年8月 高齢者孤立死件数(日別・最高気温)



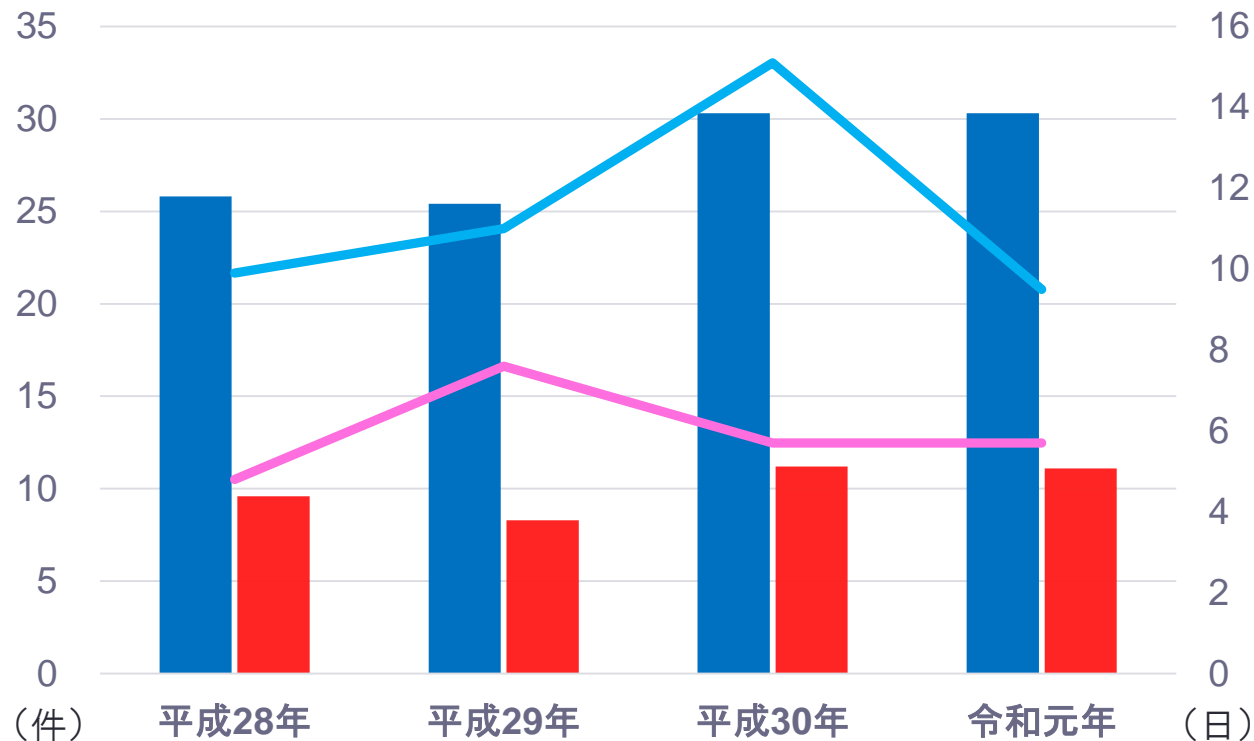
高齢者孤立死件数データ出典:東京都監察医務院提供データ
 気温データ出典:気象庁ホームページ「過去の気象データ検索」

(3) 足立区における7月8月気温別高齢者孤立死件数(気温別) 【平成28年～令和元年平均】



高齢者孤立死件数データ出典:東京都監察医務院提供データ
気温データ出典:気象庁ホームページ「過去の気象データ検索」

(4) 足立区における高齢者孤立死（年別） 性別ごとの件数／死後経過平均日数【平成28年～令和元年】



■ 男性高齢者人口1万人当たり件数 ■ 女性高齢者人口1万人当たり件数
 ■ 男性死後経過平均日数 ■ 女性死後経過平均日数

高齢者孤立死データ出典:東京都監察医務院提供データ
 人口データ出典:「足立区の世帯と人口」

《性別ごとの高齢者孤立死件数》（平成28年～令和元年の合計）
 男性844件 女性382件
男性の方が2.2倍多い。

《性別ごとの高齢者1万人当たりの高齢者孤立死件数》
 （平成28年～令和元年の平均）
 男性28.0件 女性10.1件
男性の方が2.8倍多い。

《性別ごとの死後経過日数》
 （平成28年～令和元年の平均）
 【平均値】男性11.46日 女性5.85日
 【中央値】男性4日 女性2日
 ※中央値とは値を多い順に並べたときに中央の順位にくる値
いずれも女性に比べ男性は2倍程度要している。
30日以上経過は約87%が男性。
内訳：86件（男性77件、女性9件）

(参考) 《孤立ゼロプロジェクト高齢者実態調査要支援者（孤立の恐れがあった者）率》（平成25年1月以降の合計）
 男性18.6% 女性 8.1%
男性の方が2.3倍高い

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年6月29日

件 名	令和2年度3分野連携事業（「ちょいスポ」「ちょいカル」「ちょい読み」）の実施結果について														
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課、生涯学習支援課、スポーツ振興課、中央図書館														
内 容	<p>文化・読書・スポーツの連携により各分野に親しむ人を増やし、共通理念「楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きる」を実現するために、令和2年度3分野連携事業を以下のとおり実施した。</p> <p>1 実施時期 令和2年11月～令和3年1月</p> <p>2 実施場所 地域学習センター6か所（伊興、興本、江北、舎人、花畑、保塚）</p> <p>3 プログラム実施回数及び参加人数 実施回数 324回 参加人数 3,267人（のべ人数）</p> <p>4 アンケート調査の概要</p> <p>（1）調査期間 令和2年10月20日 ～ 令和3年2月17日</p> <p>（2）主な対象及び回答者数 対 象 20～40歳代の子育て世代 回答者数 561件（事前）、193件（事後）</p> <p>（3）主な分析 「スポーツ」「文化芸術」「読書」の各活動に関する行動変容ステージを下表のとおり定義し、事業の実施前後での「実施層」の割合の変化を確認した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">1 私は現在、定期的に○○*をしています。また、6か月以上継続しています。</td> <td style="width: 15%;">維持期</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">実施層</td> </tr> <tr> <td>2 私は現在、定期的に○○をしています。しかし、始めてから6か月未満です。</td> <td>実行期</td> </tr> <tr> <td>3 私は現在、○○をしています。しかし、定期的ではありません。</td> <td>準備期</td> </tr> <tr> <td>4 私は現在、○○をしていません。しかし、近い将来に始めたいと思っています。</td> <td>関心期</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">非実施層</td> </tr> <tr> <td>5 私は現在、○○をしていません。また、この先、するつもりもありません。</td> <td>無関心期</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">※ 「スポーツ」「文化芸術活動」「読書」のいずれかが入る。</p>			1 私は現在、定期的に○○*をしています。また、6か月以上継続しています。	維持期	実施層	2 私は現在、定期的に○○をしています。しかし、始めてから6か月未満です。	実行期	3 私は現在、○○をしています。しかし、定期的ではありません。	準備期	4 私は現在、○○をしていません。しかし、近い将来に始めたいと思っています。	関心期	非実施層	5 私は現在、○○をしていません。また、この先、するつもりもありません。	無関心期
1 私は現在、定期的に○○*をしています。また、6か月以上継続しています。	維持期	実施層													
2 私は現在、定期的に○○をしています。しかし、始めてから6か月未満です。	実行期														
3 私は現在、○○をしています。しかし、定期的ではありません。	準備期														
4 私は現在、○○をしていません。しかし、近い将来に始めたいと思っています。	関心期	非実施層													
5 私は現在、○○をしていません。また、この先、するつもりもありません。	無関心期														

5 成果及び今後の方向性

(1) 成果

- ・ プッシュ型の情報提供（Eメール）やプログラムへの参加によって、文化・読書・スポーツに関連する行動（ライフスタイル）が活発になることが確認できた。
- ・ プログラム参加者について、特に「ちよいスポ（読書→スポーツ）」「ちよい読み（スポーツ→読書）」に参加した場合に、事業実施後に実施層の割合が増える傾向を確認した。

(2) 今後の方向性

ア プログラムの魅力向上

参加者の声を丁寧に聞き、ニーズの把握に努めていく。

イ より効果的なターゲット設定の工夫

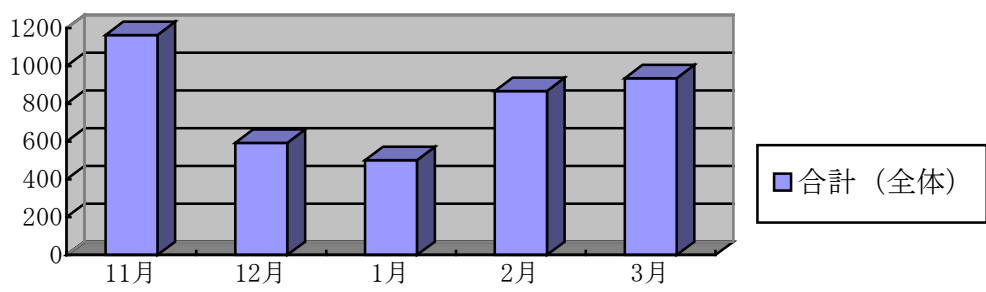
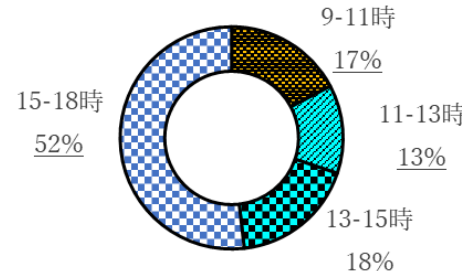
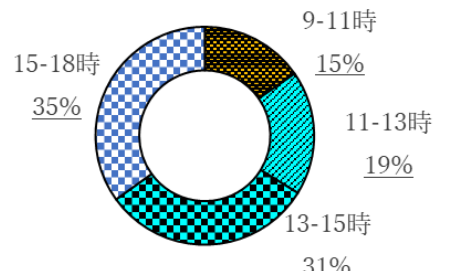
「ちよいカル（読書→文化）」については、他の2つのプログラムに比べて実施前後の変化が小さかった。プログラムの効果を高めるため、施設の利用実態に合わせてターゲットの設定を検討していく。

ウ プッシュ型・プル型を併用した情報発信

種別	概要
プッシュ型	【目的】プログラム参加や情報閲覧のきっかけづくり 【内容】SNSを活用した各施設の最新講座等の情報
プル型	【目的】具体的な内容の案内 【内容】興味や関心を持った人に対して、区や実施センターのホームページで詳細を案内

問題点 今後の方針

- ・ 令和3年度は事業を実施するセンターを区内全域に拡大する。
- ・ 地域学習センター等の指定管理者との連携のもと、事業の質的向上を図るとともに、新たに「文化×スポーツ」のプログラムにも取り組んでいく。

件 名	令和2年度スペシャルライフコート利用実績の報告について																																																															
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																																																															
内 容	<p>令和2年度スペシャルライフコート利用実績を以下のとおり報告する。 障がい者の利用に関して、緊急事態宣言もあり複数の障がい者団体・施設から利用を見合わせるとの連絡もあったが、後半は活動を再開する動きも見えた。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染状況を見ながらイベント事業を充実させ、地域連携をすすめ更に全体の利用促進を図っていく。</p>																																																															
	<p style="text-align: center;">令和2年度 スペシャルライフコート利用者実績「総括表」 (利用者延べ人数) 【単位:名】</p>																																																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th>令和2年度</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>年度合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●個人利用</td> <td>1,111</td> <td>515</td> <td>463</td> <td>815</td> <td>781</td> <td>3,685</td> </tr> <tr> <td>うち障がい者</td> <td>28</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>●団体利用</td> <td style="border: none;"></td> <td>12</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>128</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>うち障がい者</td> <td style="border: none;"></td> <td>8</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>44</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>●イベント利用</td> <td>53</td> <td>67</td> <td>30</td> <td>52</td> <td>26</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td>うち障がい者</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>17</td> <td>8</td> <td>83</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>合計(全体)</td> <td>1,164</td> <td>594</td> <td>502</td> <td>867</td> <td>935</td> <td>4,062</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td>合計(うち障がい者)</td> <td>57</td> <td>31</td> <td>19</td> <td>29</td> <td>52</td> <td>188</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	●個人利用	1,111	515	463	815	781	3,685	うち障がい者	28	0	6	12	0	46	●団体利用		12	9	0	128	149	うち障がい者		8	7	0	44	59	●イベント利用	53	67	30	52	26	228	うち障がい者	29	23	6	17	8	83	合計(全体)	1,164	594	502	867	935	4,062	合計(うち障がい者)	57	31	19	29	52	188
	令和2年度	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計																																																									
	●個人利用	1,111	515	463	815	781	3,685																																																									
うち障がい者	28	0	6	12	0	46																																																										
●団体利用		12	9	0	128	149																																																										
うち障がい者		8	7	0	44	59																																																										
●イベント利用	53	67	30	52	26	228																																																										
うち障がい者	29	23	6	17	8	83																																																										
合計(全体)	1,164	594	502	867	935	4,062																																																										
合計(うち障がい者)	57	31	19	29	52	188																																																										
 <p style="text-align: center;">■ 合計 (全体)</p>																																																																
<p>1 個人利用 (誰でも可)</p> <p>(1) 10歳未満の子どもによる利用が46%、10代を含めると74%</p> <p>(2) 主な利用時間帯：平日15時以降、土日祝13時以降が多い</p> <p>(3) 利用実態はフライングディスク、的当て、ボッチャが人気</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【個人利用時間帯／平日】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【個人利用時間帯／土日祝】</p>  </div> </div>																																																																

2 団体利用（障がい者手帳を保持する区民 1/2 以上による貸切利用）

(1) 認定登録団体：サッカー2 団体

(2) 問合せは多数：現在、ブラインドサッカーチーム、発達障がい児の通所施設から登録希望の問合せを受けている

※ オリパラ連携事業に関わりのある、花畑第一小学校6年生（約70名）による「パラスポーツ体験」として3月に単発の団体利用あり。学校長より、今後も活用していきたいとの意向あり

3 イベント利用（誰でも可） 参加人数：228名（うち障がい者83名）

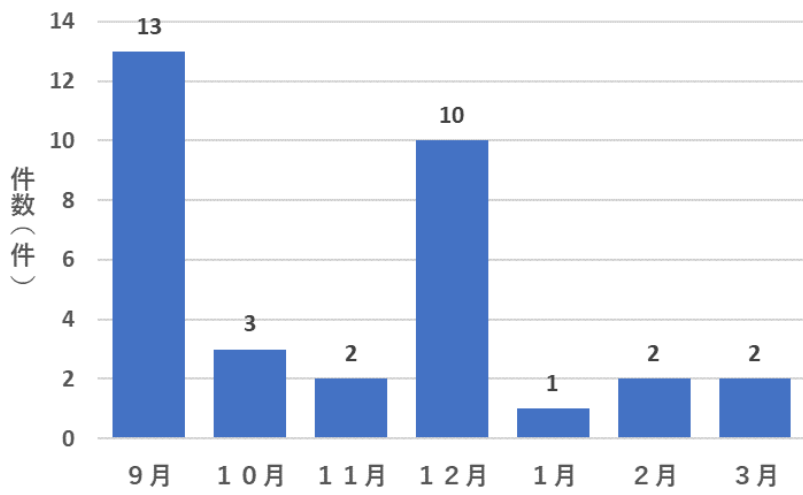
実施月	イベント内容	参加人数 (うち障がい者)
11月	・チアダンス、サッカー ・ボッチャ ・フロアボール、カーレット	53名（29名）
12月	・初級障がい者スポーツ指導員講習会 ・チアダンス、サッカー ・コーフボール	67名（23名）
1月	・フライングディスク、ラダーゲッター ・チアダンス、サッカー	30名（6名）
2月	・チアダンス、サッカー ・パラスポ・レクリエーション体験会 ・競技用車いす体験会	52名（17名）
3月	・チアダンス、サッカー ・ブラインドサッカー体験会	26名（8名）

問題点
今後の方針

関係者と連携しながらイベントの充実を図っていく。

- ・ 指定管理者とスポーツ推進委員による「パラスポーツ・レクリエーション体験教室」等の実施。
- ・ オランダのコーフボール指導者から、障がいのある方に向けた「コーフボール体験教室」の指導方法をオンラインで学び指定管理者事業として行う。
- ・ 外部事業者及び講師による「運動・スポーツ体験教室」の実施。

※ 7・8月は熱中症予防のため、教室は行わない。

件 名	令和2年度あだちスポーツコンシェルジュ相談実績の報告について																										
所管部課	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課																										
内 容	<p>令和2年度あだちスポーツコンシェルジュ相談実績を以下のとおり報告する。</p> <p>1 年間の相談実績（令和2年9月～令和3年3月）</p> <p>(1) 面談を実施したケースのうち、約半数が運動・スポーツの体験につながり、約4割は体験から継続的な活動へつながった。</p> <p>(2) 相談者の要望に沿える活動先を見つけることができず、体験に至らなかったケースや、新型コロナウイルス感染症の影響により紹介先として考えていた団体が活動自粛してしまっているケースもあった。</p> <table border="1" data-bbox="391 851 1412 1120"> <thead> <tr> <th rowspan="2">相談件数</th> <th rowspan="2">面談実施件数^{※1}</th> <th colspan="2">面談後の実績</th> </tr> <tr> <th>体験への立会い 実施件数</th> <th>継続的な活動^{※2} につながった件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33件</td> <td>29件</td> <td>14件</td> <td>11件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 面談に至らなかったケース…電話口での紹介にて相談終了したものなど ※2 施設の利用登録、サークル・団体加入、プログラムへの定期的な参加など</p> <p>2 月別の相談実績</p> <p>(1) 年明け以降、特に相談件数の落ち込みが見られる。</p> <p>(2) 障がい者施設の職員からは、「相談窓口ができたことは知っているが、コロナのこともあり、本人や保護者にスポーツを勧め辛い」との声も聞かれた。</p> <p>[月別相談件数]</p>  <table border="1" data-bbox="414 1590 1220 2083"> <caption>[月別相談件数]</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	相談件数	面談実施件数 ^{※1}	面談後の実績		体験への立会い 実施件数	継続的な活動 ^{※2} につながった件数	33件	29件	14件	11件	月	件数(件)	9月	13	10月	3	11月	2	12月	10	1月	1	2月	2	3月	2
相談件数	面談実施件数 ^{※1}			面談後の実績																							
		体験への立会い 実施件数	継続的な活動 ^{※2} につながった件数																								
33件	29件	14件	11件																								
月	件数(件)																										
9月	13																										
10月	3																										
11月	2																										
12月	10																										
1月	1																										
2月	2																										
3月	2																										

3 面談者の属性

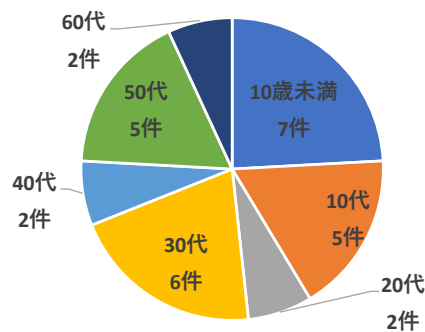
(1) 障がい種別では、身体、精神障がい者からの相談もあったが、知的障がい者からの相談が最も多かった。

(2) 年齢別では、子どもやミドル層からの相談が多く、高齢者からの相談は少なかった。

【障がい種別面談実績】

身体	知的	精神	発達	難病
8件	15件	5件	2件	2件

【年齢別面談実績】



4 面談後の継続的な活動につながった案内先及び人数（延べ人数）

<区スポーツ施設>

障がい者水泳教室：3名 ハンディーキャップヨガ：3名
温水プール（個人利用）：2名 トレーニングジム（個人利用）：2名

<サークル加入>

サウンドテーブルテニスサークル：1名
障がい者サッカークラブ：1名 社会人サッカークラブ：1名

<民間スポーツ施設利用>

ボーリング：1名

【問題点】

1 活動場所の不足

- (1) 区スポーツ施設における、障がい者が安心して参加できる運動・スポーツのプログラム・教室が少ない。
- (2) 地域における障がい者のスポーツ団体や、民間スポーツ施設など紹介先となる地域資源の情報が不足している。

2 相談件数の伸び悩み

【今後の方針】

1 活動場所の拡充

- (1) 運動・スポーツのニーズ及び紹介先となる地域資源について、障がい者団体や施設からの情報収集を行う。
- (2) ニーズを踏まえ、スペシャルライフコートをはじめ区施設におけ

問題点
今後の方針

る運動・スポーツプログラムの拡充を図る。

(3) 民間スポーツ施設における障がい者の受け入れ状況を調査し、区の障がい者スポーツ推進について協力を求める。

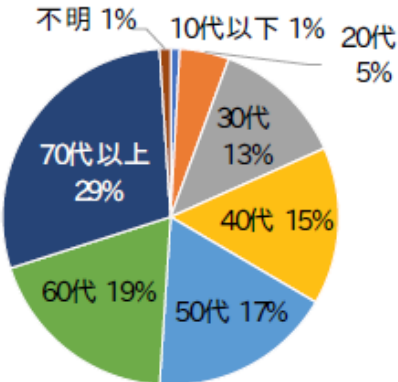
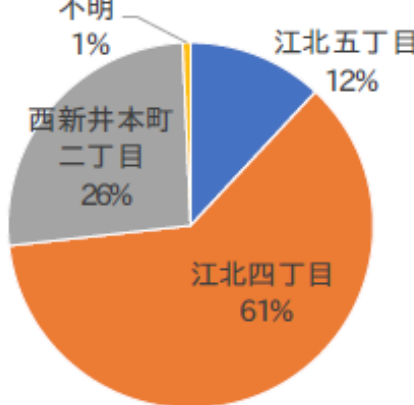
(4) 自宅や通所先などで気軽に実践できる運動・スポーツについて紹介・提案を行う。

2 相談件数の拡充

(1) 障がい者施設への個別訪問を通し、障がい者スポーツへの意識啓発を図るとともに、スポーツコンシェルジュの取り組みについてのPRを継続的に行う。

(2) 特別支援学校等への出張面談を実施し、障がい者の運動・スポーツ参画を促進する。

令和3年6月29日

件 名	「高野小学校跡地スポーツ施設に関するアンケート」の結果について						
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課						
内 容	<p>3月に実施した、高野小学校跡地スポーツ施設に関するアンケート結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 アンケート概要</p> <table border="1" data-bbox="406 703 1417 994"> <tr> <td>配布日</td> <td>3月22日(月)、24日(水)</td> </tr> <tr> <td>配布・回答数</td> <td>3,517通配布、574通回答(回答率 約16%)</td> </tr> <tr> <td>配布地域</td> <td>高野小学区域内にポスティング 江北四丁目 2,427通 西新井本町二丁目 756通 江北五丁目 334通</td> </tr> </table> <p>2 回答者属性</p> <p>(1) 年代</p>  <p>(2) 住所</p> 	配布日	3月22日(月)、24日(水)	配布・回答数	3,517通配布、574通回答(回答率 約16%)	配布地域	高野小学区域内にポスティング 江北四丁目 2,427通 西新井本町二丁目 756通 江北五丁目 334通
配布日	3月22日(月)、24日(水)						
配布・回答数	3,517通配布、574通回答(回答率 約16%)						
配布地域	高野小学区域内にポスティング 江北四丁目 2,427通 西新井本町二丁目 756通 江北五丁目 334通						

3 回答結果（どの問も複数回答可）

（問1）人工芝の多目的広場ゾーンを、どのように利用してみたいですか？

時間や予約にしばられない自由利用	323件
ウォーキング、ランニング	320件
地域交流、フリーマーケットなど（イベント開催）	244件
健康体操、ヨガ	186件
運動を始めるきっかけとなる体験教室	174件
運動を継続する定期開催の教室	167件
学童向けのサッカー	96件
グラウンドゴルフ	67件
成人向けのサッカー	59件
フットサル	55件
その他	107件
利用する予定はない	24件
合計	1,822件

（問2）建物・付帯設備ゾーンには、更衣室やシャワー室、トイレなどスポーツ施設管理棟を配置する予定です。管理棟やその周辺には、他にどのような機能・設備があると良いと思いますか？

日除け、休憩スペース	357件
防災機能設備（マンホールトイレ、かまどベンチ）	331件
健康遊具（ストレッチや体力づくり目的の遊具）	292件
周辺環境配慮施設（緑化、防音壁など）	194件
ナイター照明	170件
多目的室・会議室	138件
観覧席	100件
その他	88件
合計	1,670件

(問3) 主に多目的広場や建物を利用したい時間帯はいつですか？

土日祝日の日中（9～16時）	350件
平日の日中（9～16時）	326件
土日祝日の夕方（16～18時）	163件
平日の夜間（18～21時）	161件
平日の夕方（16～18時）	139件
土日祝日の夜間（18～21時）	100件
合計	1,239件

(問4) 小学校からスポーツ施設に変わることについて、不安な点はありませんか？

不特定多数の利用による治安の問題	298件
車両の出入りによる交通の問題	245件
災害時における避難の問題	169件
大きな歓声による音の問題	161件
夜間の照明による光の問題	78件
その他	45件
特に不安はない	126件
	1,122件

(問5) 自由意見（内容で分類し、複数の回答があった主な意見を記載）

ア 施設整備（43件）

- ・ プールも設置してほしい
- ・ 防音対策

イ 利用者（24件）

- ・ 多様な世代が利用できるようにしてほしい
- ・ 一人でも気軽に利用できる施設が良い

ウ 多目的広場の利用方法（18件）

- ・ ウォーキングしたい
- ・ 健康のために運動したい
- ・ 球技ができる広場にしてほしい

エ 施設の運用（15件）

- ・ 使用料は低価格が良い
- ・ 夜間の利用はできないようにしてほしい
- ・ 飲酒・喫煙は禁止

オ その他（87件）

- ・ 災害時に利用できるようにしてほしい
- ・ 周辺道路の渋滞を懸念
- ・ 「高野」「高野小」の名前を残してほしい

	<p>4 アンケート結果の基本計画への反映の方向性</p> <p>(1) 年代を問わず利用希望が高い「ウォーキング、ランニング」と、10代では突出して希望が高い「サッカー」など、多様な世代が多様な目的で利用できる施設となるよう検討する。</p> <p>(2) 「サッカー」「フットサル」の利用希望は土日祝日が過半数、反面「ウォーキング、ランニング」は平日が過半数を占めている。曜日や時間帯で利用者の偏りが出ないように、バランスよく利用できるよう運用面での工夫も検討する。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>1 今回のアンケートは施設の近隣住民を対象に実施したが、より広く区民の意見を聴くために、新たに全区対象のアンケートを実施する。</p> <p>2 9月末策定予定の基本計画に、アンケートの結果を反映させる。</p>

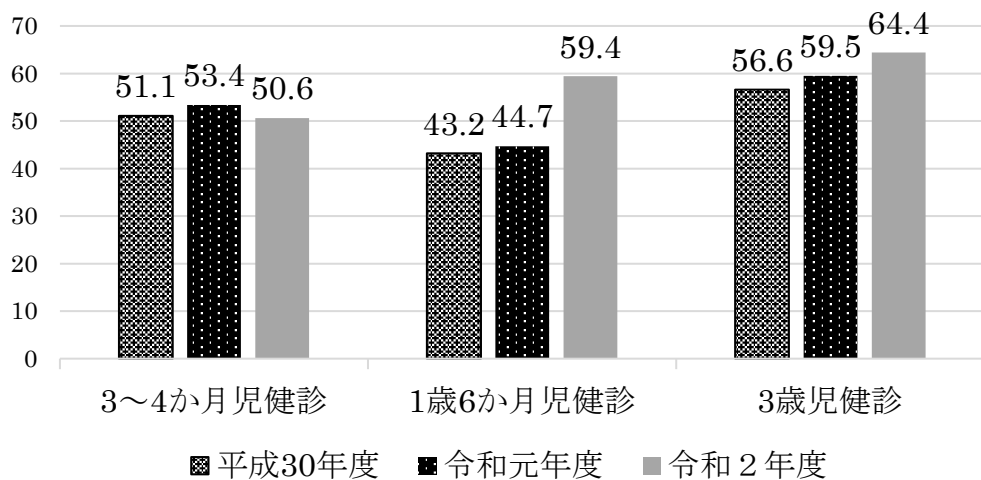
区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年6月29日

件 名	「あだちはじめてえほん」事業の令和2年度実績報告について												
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館												
内 容	<p>「あだちはじめてえほん」事業の令和2年度実績について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 実施状況</p> <p>(1) 3～4か月児健診</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 絵本配付冊数 3, 765冊 (健診会場で手渡し)</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 配付率 99% (前年度99%)</p> <p>(2) 1歳6か月児健診</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 絵本引換冊数 (健診の案内通知に引換券を同封し、図書館、子育てサロン、児童館で引き換え) 3, 120冊</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 引換率 58% (前年度63%)</p> <p style="margin-left: 40px;"><u>※ 令和2年4～5月に引換施設 (図書館、児童館、子育てサロン) が臨時休館となったため、前年度を下回った。</u></p> <p>2 令和2年度アンケート結果</p> <p>(1) 子どもの読書冊数は、身近な大人の読書冊数と関係があることを知っている保護者の割合</p> <p style="margin-left: 20px;"><u>昨年度に比べ、1歳6か月児健診時では減少したが、3歳児健診時では、2年連続で増加した。</u></p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>子どもの読書冊数と関係があることを知っている保護者の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>健診時期</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1歳6か月児健診</td> <td>37.1</td> <td>43.3</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td>41.6</td> <td>47.2</td> <td>51.1</td> </tr> </tbody> </table> </div>	健診時期	平成30年度	令和元年度	令和2年度	1歳6か月児健診	37.1	43.3	41.7	3歳児健診	41.6	47.2	51.1
健診時期	平成30年度	令和元年度	令和2年度										
1歳6か月児健診	37.1	43.3	41.7										
3歳児健診	41.6	47.2	51.1										

(2) ほとんど本を読まない保護者の割合

昨年度に比べ、1歳6か月児健診時と3歳児健診時において増加した。本を読まない理由としては、「時間がない」「これまでに読む習慣がなかった」の回答が多くみられた。



3 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 3～4か月児健診

4～5月の健診が中止となったため、健診会場で絵本の配付ができなかった。受け取ることができなかった方へは、代替措置として、年度末まで区内図書館で絵本を配付した。

(2) 1歳6か月児健診

4～5月に引換施設が臨時休館となったため、引換券の有効期限を1年間延長した。

1 引換率の向上（1歳6か月児健診）

令和3年1月に作成した読み語り動画で紹介した絵本を令和3年4月から配付する絵本に追加した。読み語り動画と合わせて事業のPRを強化し、引換率の向上につなげていく。

※ 読み語り動画再生回数（令和3年5月26日時点）

- ・ はじめて絵本の選び方 3, 877回
- ・ 親子でスキンシップ 1, 035回

今後の方針

2 ほとんど本を読まない保護者へ働きかけ

(1) 時間がない方

時間がない中でも本に触れるきっかけとなるよう、電子図書館（令和3年7月下旬稼働予定）をPRし、読書時間の確保を後押ししていく。

(2) これまでに読む習慣がなかった方

アウトリーチ事業や三分野連携事業の実施により、読書に親しみきっかけを提供し、読書の楽しさに気付いてもらえるよう働きかけていく。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和3年6月29日

件 名	電子図書館の図書構成等について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館
内 容	<p>電子図書の導入開始予定日、図書構成等について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 導入開始予定日 令和3年7月20日（火）</p> <p>2 名称 あだち電子図書館</p> <p>3 タイトル数 導入開始時は、1,000タイトルを提供する。 なお、令和3年度末までに合計2,000タイトルを提供する。</p> <p>4 導入図書の構成方針、構成割合</p> <p>(1) 構成方針 タイトル数が少ないため、メインターゲットを「子ども（乳幼児から中学生）及びその保護者」に絞り、構成割合を「子ども：60%（ア・イ）」「保護者含む一般：40%（ウ～オ）」とした。各項目の構成目的を次のとおり。</p> <p>ア 絵本・図鑑・読み物 ※ 乳幼児～小学生向け（30%） (ア) 「足立区読書活動推進計画（以下「計画」）」の小・中学生アンケート調査で、就学前の読書習慣が成長後の読書活動に大きな影響をもたらすことが明らかになった。そのため、電子図書ならではの動く絵本や音の出る絵本も提供タイトルに含めることで、乳幼児期からの読書習慣の定着を図る新たなツールとして導入する。</p> <p>(イ) 図鑑については「子どもが電子図書の生き物図鑑で、外で実際の生き物と見比べる」というような活用機会を想定して導入する。</p> <p>(ウ) 小学生にタブレットが配布されることも踏まえ、小学生の読書のきっかけとして入りやすい「青い鳥文庫」等を導入する。</p> <p>イ 学習関連・ライトノベル ※ 主に中学生向け（30%） (ア) 計画における小中学校アンケートの「中学生のほうが小学生</p>

より読書の割合が低い（※1）」という結果を踏まえ、読書のきっかけとしてライトノベルの割合を高めることで中学生が読書に触れる機会を増やすため、導入する。

※1 中学1年生で「読書に関心があり、過去1か月間に本を読んだ」割合 → 42.7%

小学5年生の同項目の割合 → 57.5%

(イ) 中学生の学習活動支援を行うため学習関連図書を導入する。

ウ 小説・エッセイ ※ 保護者含む一般向け（20%）

上記の小・中学生アンケートの「保護者の読書習慣が子どもの読書習慣に影響を及ぼす」というアンケート結果を踏まえ、保護者の読書習慣形成の新たなツールとして導入する。

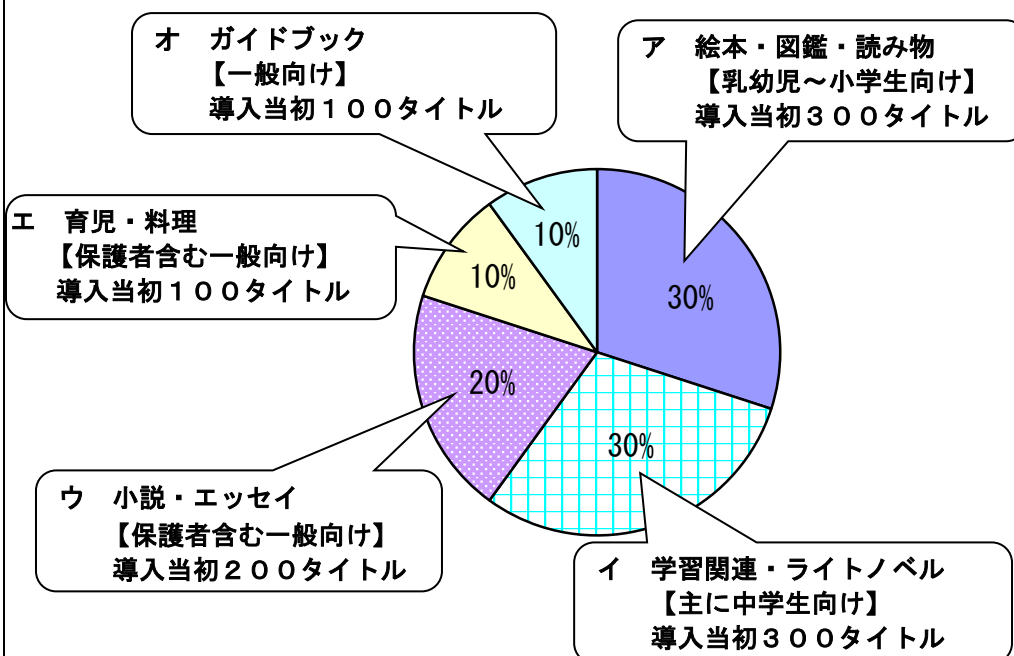
エ 育児・料理 ※ 保護者含む一般向け（10%）

構成目的は上記ウと同じ。

オ ガイドブック ※ 一般向け（10%）

電子図書ならではの持ち運びやすい利点があるため導入する。

(2) 構成割合



(3) 視覚障がい者等への対応

リフロー書籍（音声読み上げに対応した書籍）を購入図書に含めるとともに、本事業の委託事業者が区に無償提供する「視覚障がい者利用支援サイト」も導入し、視覚障がい者などのニーズに対応できるようにしていく。

	<p>5 広報・PR（予定）</p> <p>(1) あだち広報（6月25日号及び7月25日号）</p> <p>(2) 「かけはし（7月号・電子図書館特集）」</p> <p>(3) ティーンズスコープ（7月号）</p> <p>(4) 地域学習センターミニコミ紙</p> <p>(5) SNS（ツイッター、フェイスブック）</p> <p>6 その他</p> <p>青空文庫など契約上無料についてくる電子図書については、子ども向けの図書などを選書して追加する。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初回導入後、令和3年度末までの追加図書購入においても、今回報告した図書構成割合を軸とする。そのうえで、初回導入後に様々な世代から意見を聴取しながら、追加図書購入内容を検討していく。 ・ 令和4年度以降の図書構成については、令和3年度の事業効果を検証しながら改めて検討していく。